

稲武地区の概要

＜令和7年度＞



重点道の駅「どんぐりの里いなぶ」周辺



豊田市 稲武支所

【目 次】

第 1	稲武地区のプロフィール	1
第 2	稲武地区の特色	
1	豊田スタジアム芝育成ほ場	2
2	豊田市帰農者滞在施設	3
3	豊田市稲武どんぐり工房	4
4	面ノ木風力発電所	5
5	どんぐりの里いなぶ	6・7
6	大井平公園「風のつり橋」	8
7	大井平公園「小水力発電施設」	9
8	農林漁家高齢者センター(ハウスポニー)	10
9	稲武地域会議	11
10	共働のまちづくり	12～14
11	コミュニティ会議	15
12	小中学校統合	16
13	稲武地域バス(どんぐりバス)	17～18
14	ふれあい協定	19
15	財産区	20
16	ラリーをいかしたまちづくり事業	21
17	稲武地区の養蚕	22
《資料》	稲武地区のみどころ	23

第1 稲武地区のプロフィール

1 地 勢

- ・地形は、木曽山脈に属する段戸山系の高い山々が南部に連なり、矢作川水系の名倉川、黒田川、野入川、段戸川の諸河川はこれらの山々を源とし、北に向かって流れ、矢作川に注ぐ南高北低のやや菱形の形をしている。
- ・主要道路は、東西に伸びる国道153号と南北に伸びる国道257号が中央部で交差し、三河山間地における交通の要衝となっている。
- ・標高は、北部の低地域で320m、中央丘陵地域で500m、周りは800～1,000mの高い山々に囲まれている（最高地点は天狗棚の1,240m）。
- ・北は岐阜県恵那市（上矢作町、串原）と、東は長野県根羽村と接している。
- ・総面積は98.63㎢、その87%が山林である。

2 気 候

- ・2024年平均気温は13.4℃であり、豊田市中心部と比較して4℃程低く、各月の平均気温を見ても岐阜県高山市に近い。
- ・2024年の年間降水量は2,362mmであり、市内でも降水量の多い地区である。

3 支所の位置等

- ・豊田市稲武町竹ノ下1-1
- ・東経137度31分 ・北緯 35度13分 ・標高 505.2m
- ・職員数 14名（支所長、副支所長、地域振興担当8名、市民生活担当4名）

4 人口・世帯数

人 口			世帯数	年齢階級別			面積 (㎢)	人口密度 (人/㎢)
計	男	女		0～14歳	15～64歳	65歳以上		
1,903	939	964	934	122	765	1,016	98.63	19

※令和7年4月1日現在。人口は外国人を含む総人口。

5 人口の推移

単位：人

年	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
人口	3,109	3,009	2,922	2,835	2,790	2,723	2,680	2,637	2,559	2,545
年	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
人口	2,461	2,393	2,312	2,255	2,205	2,165	2,085	2,013	1,966	1,903

※各年4月1日現在。人口は外国人を含む総人口。住民基本台帳から転記

6 産業別従業者数

単位：人・%

区分	農業	林業	漁業	一次計	鉱業	建設	製造	二次計
人	148	12	2	162	2	122	178	302
割合	12.6	1.0	0.2	13.8	0.2	10.4	15.1	25.7
区分	電気ガス他	運輸・通信	卸小売	サービス	公務	三次計	その他	合計
人	11	33	136	423	32	635	77	1176
割合	0.9	2.8	11.6	36.0	2.7	54.0	6.5	100

※令和2年国勢調査

第2 稲武地区の特色

1 豊田スタジアム芝育成ほ場

(1) 経 過

- ・ 豊田スタジアムのピッチは冬用芝と夏用芝を張り替え使用していたが、いずれの芝も宮崎県や宮城県等の遠隔地より購入していた。
- ・ 冬用芝を夏季の間育成し、再利用できるほ場の適地が市内の稲武地区にあり、試行的に平成17年6月から冬用芝の育成を行った。
- ・ 芝育成が好調なことから、さらに約2haのほ場を2か年(平成20～21年)かけて整備し、豊田スタジアム用芝を全面的に供給し地域の雇用の場となっている。近年では、稲武の芝が改良され、1年に1回の張り替えで通年で稲武の芝が使用されている。



(2) 稲武ほ場概要

- | | | | |
|-------|-----------------------|---------|--------|
| ・ 所在地 | 豊田市小田木町地内 | ・ 土地所有者 | 小田木財産区 |
| ・ 面積 | 42,739 m ² | | |



2 豊田市帰農者滞在施設

(1) 目 的

- ・都市と山村の交流促進及び遊休農地の有効利用による山村の活性化を図る。

(2) 施設の概要

ア 所在地

- ・夏焼みどりのふるさと村
豊田市夏焼町モチアケ1 2 3
- ・野入みどりのふるさと村
豊田市野入町向山1 4



イ 建物の構造、延べ床面積

- ・木造一部2階建 1 2 棟（夏焼町7棟、野入町5棟）
- ・ 43.74 m^2 （1階 29.16 m^2 、2階 14.58 m^2 ） $\times 12$ 棟 $\div 525 \text{ m}^2$

ウ 貸付農地

- ・夏焼町7棟、野入町5棟の滞在施設に貸付
農地（約1 a／戸）を整備

エ 総事業費等

- ・総 額 139,249,950 円

オ その他

- ・国庫補助事業として整備を実施
＊事業名 新山村振興等農林漁業特別対策事業（補助率 1／2以内）

カ 供用・利用開始 平成18年4月1日

(3) 利用者選考方法

申込者から利用計画書の提出を求め、審査会により選考

(4) 使用料（年額）

- ・夏焼みどりのふるさと村（7棟） 280,000 円／棟（污水处理費含む）
- ・野入みどりのふるさと村（5棟） 270,000 円／棟
（ふるさと村の農地として1区画 120 m^2 を年額1,200 円で貸付）

(5) 利用期間

4月1日～翌年3月31日の1年間 ＊最長5年間の継続可

(6) 施設の利用状況（令和6年度）

利用者数 11戸

3 豊田市稲武どんぐり工房

(1) 施設概要

- ア 所在地 豊田市武節町針原 1 5
- イ 敷地面積 887 m²
- ウ 延べ床面積 257 m²
- エ 総事業費 95,008 千円
- オ 稲武地区の大野瀬町に残っていた、明治 12 年 (1879 年) 建築の民家を移築し、平成 17 年 4 月 20 日に開館。



(2) 目 的

地域の活性化を目的に、郷土料理づくりなどの山里体験プログラムを通じ、都市と山村の交流を促進する。

(3) 施設管理

- ア 指定管理者 いなぶ観光協会
- イ 委託費 9,654,000 円 (令和 6 年度協定額、消費税込み)
- ウ 体験プログラム 稲武の工芸、食、農業、自然、歴史を体験
* 要望に応じたプログラムもコーディネート
(体験プログラムの様子)



(4) 入館者数

単位：人

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
施設利用	1,311	2,199	3,703	2,606	2,024	4,236	8,654
うち体験利用	836	890	1,528	1,607	896	1,154	1,269
施設見学	3,028	2,914	5,766	4,494	3,669	7,192	10,367
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
施設利用	6,576	11,655	11,552	12,770	8,668	10,623	9,106
うち体験利用	1,763	2,229	2,489	2,496	2,783	2,771	2,448
施設見学	9,735	14,746	15,031	17,240	12,336	14,060	12,287
年度	R2	R3	R4	R5	R6		
施設利用	8,538	13,063	13,667	12,434	12,615		
うち体験利用	1,358	1,755	2,662	2,848	2,666		
施設見学	8,538	11,308	11,005	9,586	9,949		

4 面ノ木風力発電所

(1) 施設概要

ア 所在地	豊田市稲武町井山1-9
イ 定格出力	1,800kW (600kW×3基)
ウ 風車の直径	44m
エ 風車の高さ	68m (羽根先端までの高さ)
オ 発電開始風速	2.5m/秒
カ 定格出力風速	12.5m/秒
キ 風車機種	ドイツ・エネルギー社製
ク 総事業費	579,215,701円
ケ 売電開始	平成17年2月19日

(2) 施設管理 (保守点検)

ア 電気設備	電気主任技術者 (藤田電気保安管理事務所)
イ 風車設備本体	(株) 日立パワーソリューションズ

(3) 稼働実績 (令和6年3月～令和7年2月分)

ア 平均風速	5.3m/秒
イ 売電電力量	1,989,700kWh
ウ 売電収入	40,390,905円 20円30銭/kWh (中部電力ミライズ(株)) (税込)



夏の風力発電所の様子

5 どんぐりの里いなぶ

(1) 道の駅 どんぐりの里いなぶ

ア 施設概要

- (ア) 所在地 豊田市武節町針原4-1
- (イ) 駐車場 大型12台、普通車108台、障がい者用3台
- (ウ) トイレ 男9器、女8器、障がい者用1器
- (エ) 付帯設備 情報端末やパンフレット等の情報コーナーを設置
公衆電話1台、無料公衆無線LAN(Wi-Fi)スポット、
授乳スペース、EV急速充電器1基を設置
イベント広場「グリッピーのぼうし」
- (オ) その他 農林水産物直売施設どんぐり横丁及び健康増進施設
どんぐりの湯と併設

イ その他

- ・平成27年1月に地域活性化の拠点となる重点「道の駅」に選定。
- ・地域防災計画の「防災拠点」として防災トイレ、自家発電装置を整備。

(2) 農林水産物直売施設 どんぐり横丁

ア 施設概要

- (ア) 所在地 豊田市武節町針原6-1
- (イ) 敷地面積 1,620.0㎡
- (ウ) 延床面積 1,071.6㎡
- (エ) 総事業費 402,586千円
- (オ) 供用開始 平成11年3月30日
- (カ) 増改築工事 88,095千円(平成16年度)
450,087千円(令和3~4年度)



施設内 賑わいの様子

イ 運営

- (ア) 指定管理者 (株) どんぐりの里いなぶ(平成17年1月より)
平成26年4月より利用料金制度の開始
- (イ) 委託費 134,651,418円(令和6年度最終協定額、消費税込み)
健康増進施設どんぐりの湯と併せて管理を委託

ウ 利用実績

単位：人

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
客数	460,236	456,571	491,982	511,886	454,795	456,896	469,565
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
客数	448,591	447,496	446,867	431,057	422,521	420,951	395,681
年度	R2	R3	R4	R5	R6		
客数	291,495	222,175	337,124	369,744	402,585		

※令和3年4月12日から令和4年6月6日まで整備工事に伴い仮設店舗で営業

(3) 健康増進施設 どんぐりの湯

ア 施設概要

- (ア) 所在地 豊田市武節町針原2-2-1
- (イ) 敷地面積 4,693.0 m²
- (ウ) 延べ床面積 2,691.7 m² (1階:1465.0 m² 2階:1226.7 m²)
- (エ) 浴槽面積 194.0 m² (1階:118.2 m² 2階:75.8 m²)
- (オ) 泉 質 単純温泉(低張性弱アルカリ性低温泉)
- (カ) 適応症 神経痛、筋肉痛、関節痛、運動麻痺、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進
- (キ) 総事業費 1,641,997千円
- (ク) 供用開始 平成10年4月3日
(リニューアルオープン平成23年10月1日)
- (ケ) リニューアル工事 548,492千円(平成22年度～23年度)
- (コ) 長寿命化改修工事 250,778千円(令和4年度)

イ 運 営

- (ア) 指定管理者 (株)どんぐりの里いなぶ(平成17年1月より)
平成26年4月より利用料金制度の開始
- (イ) 委託費 農林水産物直売施設どんぐり横丁と併せて管理を委託

ウ 利用実績

単位：人

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
客数	148,201	135,817	137,297	129,032	83,928	95,863	171,721
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
客数	161,144	164,640	164,176	164,801	152,209	143,130	143,737
年度	R2	R3	R4	R5	R6		
客数	95,723	105,047	89,218	140,548	137,626		

※平成22年12月1日から平成23年9月30日までリニューアル工事で休業有
 ※令和2、3年度は新型コロナウイルスの影響で休業、営業時間短縮などの措置を取った期間有
 ※令和4年度は8月28日から令和5年1月5日まで長寿命化改修工事のため休館

(施設内の様子)



6 大井平公園「風のつり橋」

(1) 施設概要

ア 構造	単径間無補剛吊橋
イ 全長	L=86.0m (橋部 53.0m 木道 33.0m)
ウ 有効幅員	W=2.0m
エ 高さ	約 13.0m (水面から床版まで)
オ 塔柱	右岸側 H=13.0m 左岸側 H= 3.5m
カ 主索径	φ47.5mm
キ 床版・欄干	木製(三河産杉使用)
ク 事業費	109,873 千円

(2) 経 過

- ・「どんぐりの里整備計画」の一部として、平成17年1月に整備計画を策定
- ・平成17年8月から設計、平成20年12月より工事に着工し、平成22年10月完成
- ・平成22年10月31日に完成式(渡り初め)を開催、供用開始した。



橋全体の様子



秋の紅葉の様子

7 大井平公園「小水力発電施設」

(1) ふるさと水と土とふれあい事業 [地域の概要及び事業目的]

稲武町地内の用水施設を親水施設として整備し、併せて親水広場、遊歩道、小水力発電施設の整備を行うことで、用水の持つ多面的機能の発揮、地域住民の憩いの場及び都市住民との交流の場を創設し、さらに既存の観光施設を線で繋ぐことで地域全体の魅力を向上させ、都市との交流を促進させることにより地域の活性化を図ることを目的に整備した。

(2) 施設概要

ア 所 在	豊田市稲武町地内
イ 事業内容	親水水路 0.6km 1式、遊歩道 0.8km、 付帯施設（小水力発電施設含む） 1式
ウ 事業費	256,000 千円
エ 負担区分	工事費 : 国 55.0% 県 22.5% 市 22.5% 事務費 : 国 50.0% 県 25.0% 市 25.0%
オ 工 期	平成23～27年度 うち、小水力発電施設は平成27年度に施工
カ 事業主体	愛知県
キ 管 理 者	豊田市
ク 発電施設	

水車形式	胸掛式水車
発電方式	永久磁石式発電機
発電電力	最大620W
使用水量	0.1 m ³ /s
有効落差	1.6m

※発電した電気は、本事業で整備した親水広場内の外灯、トイレの照明・暖房（冬季）に利用しています。



発電施設全体の様子と水車のクローズアップ

8 農林漁家高齢者センター（ハウスポニー）

（1）施設概要

ア 所在地	豊田市夏焼町ナカノ139-2
イ 延べ床面積	275.4 m ²
ウ 総事業費	48,576 千円
エ 施設	和室・創作室（研修、集会）宿泊（5～30人）
オ 付帯設備	東屋、石窯、バーベキューセット
カ 建築年月日	平成2年2月28日

（2）目的

高齢者の生きがいづくり及び住民福祉の向上を図ること。

（3）施設管理

ア 指定管理者	公益社団法人豊田市シルバー人材センター
イ 委託費	4,745 千円（令和6年度協定額、消費税込み）

（4）利用実績

（単位：人）

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
施設利用	3,526	2,061	3,188	2,998	2,781	1,131	1,561
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
施設利用	1,602	1,534	2,282	2,541	1,975	1,995	1,501
年度	R2	R3	R4	R5	R6		
施設利用	253	521	1,007	1,210	1,098		

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響で利用制限実施
（令和2年4月1日（水）～9月30日（木））

（施設各所の写真）



9 稲武地域会議

(1) 役 割

市の取り組みや地域の中での課題や気付いたこと等について、市長へ意見を出してもらうこと。(諮問答申・提言)

(2) 委 員 14人 (令和7年4月1日現在)

(3) 会議開催(令和7年度予定)

・地域会議 12回開催を予定



令和6年度 提言の様子

令和7年度 稲武地区 地域会議委員名簿

	氏名	所 属 等	備 考
1	安藤 直人	NPO 稲武まちづくり協議会	
2	石橋 佳子	株式会社どんぐりの里いなぶ	
3	今泉 喜規	稲武商工会	
4	海野 浩	稲武地区民生児童委員協議会	
5	佐々木 祐次	稲武地区区長会	
6	高崎 太一郎	NPO 稲武まちづくり協議会	
7	塚田 孝弘	稲武地区区長会	新任
8	土本 隆雄	稲武商工会	
9	土山 富衣	稲武小学校PTA	新任
10	中 拓二	公募	
11	西尾 昌直	いなぶ観光協会	
12	深見 友和	稲武中学校PTA	【副会長】
13	三江 元博	NPO 稲武まちづくり協議会	【会長】
14	宮島 明菜	稲武中学校PTA	

10 共働によるまちづくり

(1) わくわく事業（令和6年度）

- ・ 申請件数 11 件 うち交付決定 11 件
- ・ 補助金交付確定額 6,275,000 円

わくわく事業（令和7年度）

- ・ 申請件数 8 件 うち交付決定 8 件
- ・ 補助金交付決定額 4,967,000 円（令和7年4月1日）

(2) 地域課題解決事業

- ・ 夏焼城ヶ山整備事業（遊歩道草刈）
令和6年度 事業費 19千円
令和7年度 事業予算19千円

〈参考〉過年度の取組



夏焼城ヶ山山頂の展望台
(H30 年建築)



パノラマ看板設置
(R1 年設置)



登山ガイド作成
(R1 年作成)

- ・ 城山整備事業（支障木伐採、遊歩道整備、観光PR横断幕設置）

令和6年度 事業費 7,125千円
令和7年度 事業予算7,354千円



(城山神社からどんぐり方面)



(城山遊歩道)



・生活道路における支障木伐採事業

(稲武地区内の市道・県道の支障木伐採予定)

令和6年度 事業費 6,050千円

令和7年度 事業予算6,875千円



(施工前)

支障木伐採の様子



(施工後)

・地域定住対策事業

(いいいなぶ移住応援隊による空き家見学ツアー、交流会等の実施)

令和6年度 事業費 1,400千円

令和7年度 事業予算1,600千円

(いいいなぶ移住応援隊活動の様子)



(| ターン者の話を聞く様子)



(空き家見学の様子)

・いなぶラボ推進事業

(自主学習支援活動、生涯学習促進活動等の実施)

令和6年度 事業費 3, 5 1 8 千円

令和7年度 事業予算5, 5 1 8 千円



(自主学習支援活動)



(星空観察の様子)

・ラリーをいかした地域づくり事業

(ドライビングストレッチ動画の制作)

令和6年度 事業費5 8 7 千円

※令和7年度は、別事業で予算化



(わがまちアスリートによる運転前の体操動画)

1 1 コミュニティ会議



(1) 経 過

地区区長会を中心に地区内関係団体・機関に構成委員を要請し、設立

(2) 設 立

平成18年4月30日

(3) 部 会

スポーツ健康部会・青少年育成部会・環境部会・福祉部会・文化部会

(4) 令和7年度の主な活動計画

月 日	事 業
4/23 (水)	総務会
6/ 8 (日)	サンデーサロン 文化部会
6/12 (木)	ふくしの教室 福祉部会
6/14 (土)	環境パトロール 環境部会
6/22 (土)	おとなの竹講座（竹林整備） 環境部会
6/29 (日)	2025 稲武地区バレーボール大会 スポーツ健康部会
8/ 3 (日)	稲武わんぱーく 青少年育成部会
8/31 (日)	社会を明るくする運動（ジュニアオーケストラ）青少年育成部会
9/14 (日)	モルック体験会 スポーツ健康部会
9/21 (日)	端材レザーのスマホストラップ作り 環境部会
9/27 (土)	ドキュメンタリー映画上映会 福祉部会
10/19 (日)	ふれあいまつり コミュニティ会議
11/29 (土)	私たちのお国じまん 文化部会
12/ 6 (土)	環境パトロール 環境部会
12/ 7 (日)	ふれあいボッチャ体験会 スポーツ健康部会
1/11 (日)	二十歳のつどい 二十歳のつどい実行委員会
1/31 (土)	サンデーサロン 文化部会

1 2 小中学校統合

(1) 稲武中学校（昭和22年開校）

- ・昭和39年4月1日 押川分校統合
- ・昭和47年7月1日 大野瀬分校統合

(2) 稲武小学校（昭和57年開校）

- ・昭和57年4月1日 稲橋小学校・同野入分校・押川小学校・黒田小学校の3校1分校を統合
- ・昭和59年4月1日 大野瀬小学校・小田木小学校の2校を統合

(3) 通学バス

- ・統合の地元条件として通学バス運行があり、名鉄バス（路線バス）による対応をした（全額補助）。以後、町営バス、市営基幹バス及び地域バスで対応。
- ・対象地区は、大野瀬町・押山町・小田木町・川手町・黒田町・富永町・野入町。ただし、黒田町・野入町（中当町）の中学生は、自転車通学としている。

(4) 参考

ア 中学校生徒数推移

単位：人

年	S59	H2	H7	H12	H17	H22	H25
生徒数	152	145	119	127	108	50	53
年	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
生徒数	57	58	51	44	46	41	33
年	R3	R4	R5	R6	R7		
生徒数	30	37	35	33	30		

イ 小学校児童数推移

単位：人

年	S59	H2	H7	H12	H17	H22	H25
児童数	286	275	268	211	134	107	97
年	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
児童数	82	86	82	75	65	66	65
年	R3	R4	R5	R6	R7		
児童数	69	64	62	60	58		

ウ こども園園児数推移

単位：人

年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
園児数	36	40	41	38	45	41	48	46
年	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
園児数	38	42	35	35	29	29	25	

1 3 稲武地域バス（どんぐりバス）

（1）運行の経緯

- ・稲武町が年間 4,200 千円の赤字補填していた名鉄バスの足助線、根羽線、押山線の3路線が平成11年9月30日に廃止された。また、平成11年3月31日に廃止された名鉄バス田口線は平成11年4月1日より「設楽町営バス」として稲武町まで乗り入れて運行された。
- ・平成11年10月1日に名鉄バスに代わって、通園・通学、通院、買い物など欠かすことのできない交通手段として愛知県過疎バス路線維持費補助金を受け「稲武町営バス」の運行を開始した。
- ・運行方法は、経費を低く抑えられる自主運行（道路運送法第80条許可）を選択した。
- ・運行路線は、国道153号・257号に合わせた名鉄バスの十字方向路線を引き継ぐとともに、独自に足助病院まで乗り入れた。
- ・平成18年10月1日稲武・足助線の朝の便が満杯のため1便を増便した。
- ・平成19年11月1日基幹バスの運行開始に合わせ、どんぐりの湯前までの乗り入れ、地域バスの再編を行い運行本数の増便をした。
- ・平成20年9月1日豊栄交通(株)を運行主体とする道路運送法第4条での運行を開始。既存の根羽線、押山線に加えて、稲武地区の各集落を曜日ごとに運行する8路線（一部デマンド）を導入した。
- ・平成23年4月1日から各集落を曜日ごとに運行していた8路線中5路線を廃止し、稲武全域（田津原町含む）で「おでかけ予約バス」の運行を開始した。
- ・平成28年4月1日から各集落を曜日ごとに運行していた3路線を廃止した。

（2）運行状況

ア 車 両	日野ポンチョ	34人乗り2台
	ハイエース	10人乗り1台

イ 運行本数

- ・根 羽 線 稲武―上郷（5往復）
稲武―根羽（3往復）
- ・押 山 線 稲武―押山（8往復）
- ・稲武地区全域（旭地区田津原町含む）で、おでかけ予約バスを月・水・金曜日運行。

ウ 料 金 乗車1回大人200円、小人100円

※平成30年4月1日から、道の駅どんぐりの里いなぶ「交通結節点」が利用開始。計6路線が乗入れ（快速いなぶ、稲武足助線、押山線、根羽線、設楽町営バス、デマンドバス）平日72路線、土曜日44路線、日曜・祝日34路線

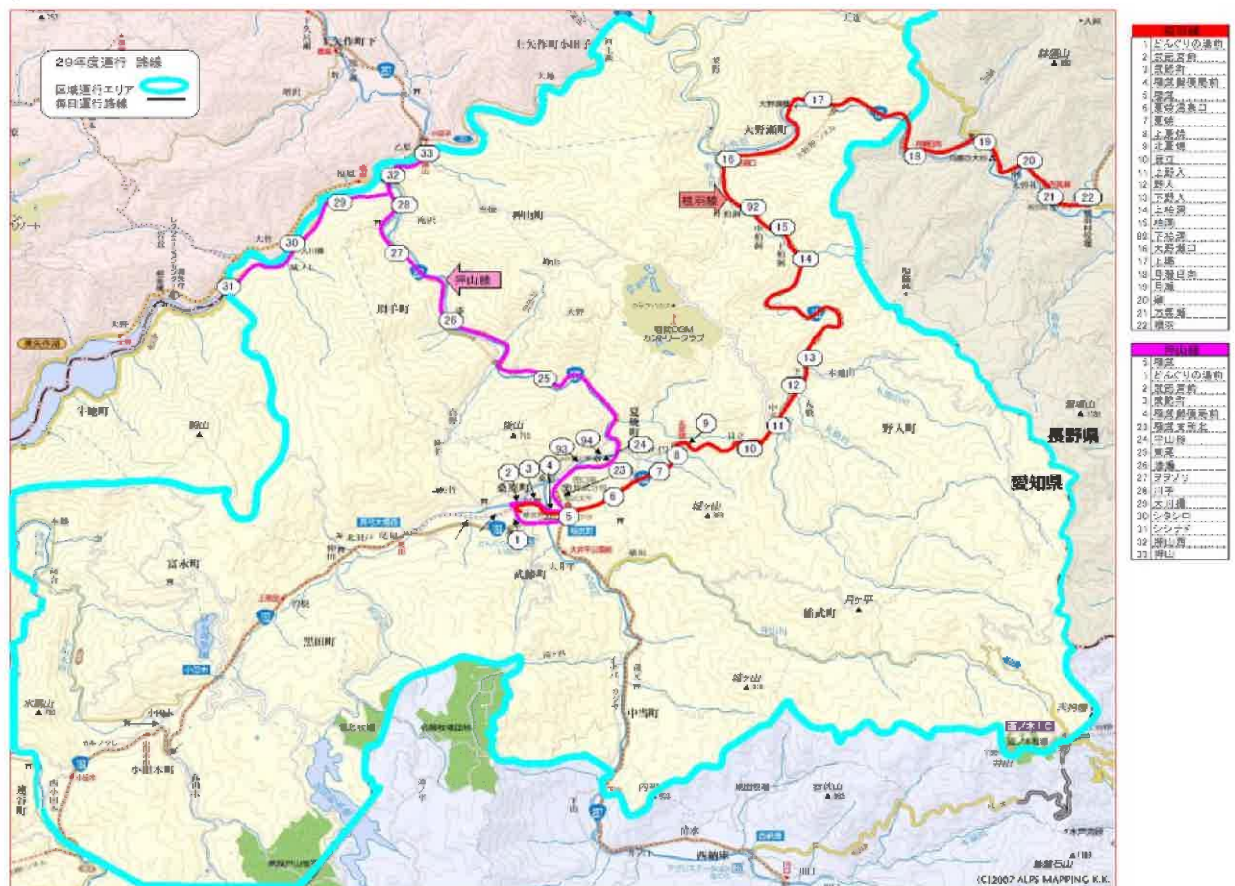
(3) 利用実績

単位：人

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
定時定路線	9,419	9,419	8,123	6,579	6,435	5,134	4,649	4,545
週1・デマンド	2,034	2,628	2,631	3,170	3,139	2,581	2,672	2,520
年度	R2	R3	R4	R5	R6			
定時定路線	3,930	3,820	4,503	4,039	4,365			
週1・デマンド	2,000	3,836	3,315	3,971	3,993			

※週1路線：平成28年3月31日をもって廃線

稲武地域バス（どんぐりバス）路線図



(デマンドバス バス停)

1 4 ふれあい協定

(1) ふるさと協定

- ・昭和59年6月4日、名古屋市・稲武町が締結。
- ・名古屋市が、昭和41年10月に稲武町に開設した名古屋市稲武野外教育センター利用生徒が50万人に達したことを記念し、今後さらに理解と協力を深め「都市と山村の共栄の道をひらくため」に締結された。

(2) ふれあい協定

- ・昭和61年10月24日、名古屋市・中津川市・稲武町が締結。
- ・名古屋市が、中津川市に開設した名古屋市中津川野外教育センター利用児童が50万人を超えたことをきっかけに締結された。
- ・協定内容は、「稲武町・名古屋市・中津川市は、野外教育を通じて結ばれたきずなをさらに強め、三市町の友好親善と相互理解を深める」もので、先の「ふるさと協定」をさらに発展させ、相互交流を深めることを目的とした。
- ・現在、豊田市・名古屋市・中津川市による協定として引き継がれている。



ふるさとふれあいウォーキング歩かまい稲武



名古屋市中生とふれあい交流植樹体験

(3) 参 考

- ア 名古屋市稲武野外教育センター（稲武町）
宿泊棟 3棟（740人収容）、
多目的ホール（ドーム型） 1,722 m²、
キャンプ場 3か所、テント 98張
※平成17年度に、利用生徒が100万人を突破

- イ 名古屋市野外学習センター（富永町）
陸上競技場 400m6コース（サッカー・ラグビー併用）、野球場 2面、
体育館 アリーナ面積1,200 m²、テニスコート 12面、宿泊棟 7棟、
キャンプ場 テント32張、食堂棟 最大500人



1 5 財産区

(1) 経 緯

- ・明治22年以前には13の村があり、地方行政整備により稲橋村・武節村の2村に、昭和15年5月10日に稲武町となった。財産区は、地方行政整備以前の13の村名をそのまま引継ぎ、現在の財産区名となっている。

(2) 管 理

- ・財産区の管理者は「豊田市長」であり、12財産区が議会制、1財産区が総会制を取り、各財産区の予算・決算・業務内容は各財産区議会（総会）に諮られ決定する。
- ・事務は豊田市稲武支所が行い、会計は会計課が行う。

(3) 区 域

- ・財産区の区域は13自治区域がそのまま13財産区域であるため、自治区に住所を有する者は同時に財産区民となる。
- ・議会制財産区は、6人（一部令和7年4月28日から）の区議会議員を選出し、財産保全管理をしている。

(4) 経 費

- ・財産保全管理にかかる必要経費は、財産区の会計から歳出される。

(5) 財 産

- ・財産区有財産の主なものは山林で、稲武地域の山林の約7割が財産区有林となっており、山林管理は一部割山制度により区民が管理している。

(6) 財産区まちづくり支援交付金

- ・平成23年度から豊田市と財産区が協力してまちづくりを行う体制を整備し、財産区住民の権利と豊田市の事業の効率的・効果的推進に寄与している。



1 6 ラリーをいかしたまちづくり

(1) 経 緯

- ・ 今年度日本で開催予定のF I A世界ラリー選手権(WRC)ラリージャパンは、全13戦の最終戦となり、世界から注目を集める大会となります。
- ・ 豊田市稲武地区では、WRCの開催を契機として、モータースポーツを活かしたまちづくりを進め、地域の魅力発信、観光振興等の地域活性化、関係人口の増加などを目指しています。

(2) F I A世界ラリー選手権(WRC)フォーラムエイト・ラリージャパン 2025

○開催日時 令和7年11月6日(木)～9日(日) 予定

○開催エリア 愛知県内及び岐阜県内

愛知県：岡崎市、豊田市、新城市、設楽町 ほか

岐阜県：中津川市、恵那市



(リエゾン区間の様子)



(3) WRCを盛り上げるラリーイベント

○開催日時 令和7年9月14日(日)、令和7年10月12日(日) 予定

○開催エリア 豊田市稲武地区内ほか

○イベント会場 道の駅どんぐりの里いなぶ



(リエゾン区間の沿道の様子)



(交通結節点でのセレモニアルスタートの様子)

1 7 稲武地区の養蚕

(1) 概要

稲武地区では、かつて多くの農家が養蚕を営み、地域の暮らしを支えてきました。また、大嘗祭や伊勢神宮への献糸にも関わるなど、由緒ある養蚕文化を誇ります。現在は「いなぶまゆっこクラブ」が伝統の継承を担い、「いなぶシルクつながるプロジェクト」が次世代の担い手確保に取り組みながら、地域に根ざした養蚕文化の再生を進めています。

(2) 令和2年度から令和6年度までの実績

令和2年度から令和6年度まで、稲武地区養蚕製糸文化伝承事業実行委員会として、稲武養蚕の担い手の確保のための検討と事業の実施を行ってきました。

蚕をテーマにした学びの場「稲武 KAIKO 学」では、映画監督・堤幸彦氏の紹介により、世界的パティシエの辻口博啓氏を講師に迎え、繭からつくられたシルクパウダーを使用した「いなぶシルクチョコレート」の開発・試食会を実施するなど、養蚕・製糸文化の普及啓発や、今後の産業化に向けた可能性を広げる取り組みも行いました。



(いなぶシルクチョコレートの試食会の様子)

(3) 令和7年度からの取組

令和7年度からは、名称を「いなぶシルクつながるプロジェクト」に改め、地域住民や、福祉事業者、企業など多様な人々と連携しながら、養蚕キットを用いた「いなぶシルクファンクラブ」を軸にした担い手確保のための事業を中心に進めていきます。参加者は稲武地区を始め都市部でも募集をし蚕の飼育体験やワークショップ等を通じて、誰もが参加しやすいプロジェクトとして展開し、いなぶまゆっこクラブと連携した取組を行う事で、担い手の確保を行っていきます。



(養蚕キットを使った蚕の飼育の様子)



① 4月 瑞龍寺のシダレザクラ (稲武町)



② 4月 ミズバショウ (野入町)

稲武地区のみどころ



⑧8月 オオキツネノカミソリ (稲武町)



⑪7月 ブルーベリー (野入町、大野瀬町)



③ 5月 子持ち桂 (大野瀬町)



稲武地区キャラクター
「グリッピー」



⑨5月 大井平公園のシャクナゲ (稲武町)



⑫ 12~2月 氷瀑 (稲武町)



④ 10~11月 押山の雲海 (押山町)



「いなベリー」



⑬ 12~2月 面ノ木の樹氷 (稲武町)



⑤ 5月 押川大滝の新緑 (押山町・川手町)



⑥ 7月 桑原棚田のラベンダー (桑原町)



⑦11月 タカドヤ湿地 (小田木町)



⑩11月 大井平公園の紅葉 (稲武町)



⑭ 8月 面ノ木のブナ原生林 (稲武町)